

Nakayoshicycle Newsletter

March 2022

A scenic view of a cable-stayed bridge over a body of water, with several bicycles parked along a paved path in the foreground. The bridge has two tall pylons and numerous stay cables. The water is calm, and the sky is blue with light clouds. The bicycles are parked in a row, some with panniers and gear. The path is paved and has a white line marking. The background shows a hilly coastline with some buildings.

目次	
しまなみ海道合宿レポ	2
2 月定サイ餃子ラン	20
駒代連載第 5 回	25
道南 5 日目・6 日目	33
退任挨拶	34
編集後記	36

しまなみ海道合宿 2022



しまなみ海道合宿レポ

2年 植木

2022年3月7日から10日にかけて、しまなみ海道合宿を行いました。その報告をここに記していこうかと思います。

参加者(敬称略)

青木・加賀(以上4年生)本橋(3年生)新井・植木・戸井(以上2年生)

行程(予定)

- 1日目(3/7)：福山駅現地集合 東横 INN 福山駅新幹線南口宿泊
- 2日目(3/8)：福山駅出発、鞆の浦経由で尾道へ、尾道を観光したのち因島の満寿美荘(ますみそう)で宿泊。
- 3日目(3/9)：生口島・大三島を巡ったのち大久野島の休暇村で宿泊。
- 4日目(3/10)：大三島・伯方島・大島を通り今治駅にて解散。

ということになっていたのですが、各自の予定で徐々に散り散りになっていったので、今治駅まで僕と一緒に走っていたのは戸井のみでした。途中で分離した方々のその後の行程はまた記事を寄せていただける…かどうかはわかりませんがぜひお願いします。

1日目

初日は福山駅現地集合としました。新尾道駅 or 尾道駅にしようという案もあったのですが、その辺は電車が少ないよー福山ならのぞみも停まるから便利だよーという生協の方のお勧めによりこのような形になりました。3名は福山駅まで輪行、2名は岡山駅から自走、1名は東京から自走だったかと思います。東京から自走???この日の時点で9日間走っていたそうです。恐ろしいことで

すね。



← 自由軒のキモ定食。レバーです。アットホームなレトロ居酒屋。

2 日目

2 日目は因島を目指します。福山駅から出発して、しおまち海道 (→<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/kanko/154793.html>) を通り尾道ラーメンを食べに行く目標でした。ここで、3,4 年生は坂を上るルート福山グリーンラインに行こうという話になったので日和った 2 年生と分離して尾道に向かいました。後々 2 年生の一人が坂に目覚めてしまうことになるのですが、それはまた後の話。



← 鞆の浦の対潮楼。
日東第一形勝



←グリーンラインからの景色。

鞆の浦を観光したのち、戸崎港からフェリーに乗ることに。陸地走ると時間・距離が同じくらいならば乗ってみようということだったんですが、最高でした。



↑戸崎・歌航路。ボタンを押して呼ぶと対岸から来てくれる。所要時間数分で運賃 210 円

ローカル渡船で一同テンションが上がってました。ダイヤグラムみたいなものがなく乗りたいときに呼ぶというのが良い。この先何回も渡船を使うので期待が高まります。

向島側の歌港から兼吉港まで走り、ここからまた渡船にのって尾道上陸です。向島-尾道のフェリ-はめちゃくちゃ安い！3社あって最安だと自転車込みで片道70円でした。採算取れてるんでしょうか？

しばし尾道観光。



尾道の路地とかロープウェイとか。



尾道ラーメン。このために走っている

尾道ラーメンを食べたらヒルクライム！当日2年生は初、3,4年生は二本目です。高見山展望台に登りました。これがきつかった。斜度もかなりあって道が荒れ気味だったので後半は押して歩いて

いました。そんな中戸井は足つきなしで登頂。素質があるな



← 因島大橋





下から見た因島大橋もきれい。



因島大橋は車道の下を走るスタイル。

宿泊先の満寿美荘は設備が少し古い感じ。清潔ではありましたが感じ方は人によるかも。サイクルラックがあったのはありがたい。お風呂は麦飯石とオゾンでどうこうな感じのいいお風呂でした。麦飯石を何と読むか論争には決着がついていません。僕はばくめしいし説を推したいと思います。夕食にアコウ(キシハタ)の煮つけや色々をいただきました。おいしかった。現地でよくとれるそうです。夜は地酒やいろいろで少しおしゃべり。日本酒のおいしさはまだわからない。

3 日目

この日は大久野島宿泊、島行きのフェリーの最終便が 17 時という都合上、また、当初の予定を少し変更し、ゆめしま海道を走ることとなり、弓削島へ渡るフェリーの時間もあつたので少し時間に



追われる感じとなりました。因島家老渡港-弓削島上弓削港のフェリーは 20 分間隔です。

まずは大山神社で集合写真。自転車神社と耳の神社があります。自転車のお守りもこっそり買いました。実はそういうのあつたんですよ



次は船隠し公園。河津桜がきれいな隠れた名所です。ここまでそこそこのアップダウンがあり、ここから港までそこそこ距離があつたのですが、寄り道しつつ爆走みたいなちぐはぐなことをしていたら目の前でフェリーに行かれました。家老渡で 1 回休み。船隠し公園から家老渡港までの鄙びた集落がかなり良かったのですが、爆走していたので写真はありません。

上弓削行きフェリー。これも運賃が安かった→



ゆめしま海道は島をあまり回らずにまっすぐ岩城橋を見に行くことになりました。岩城橋は2022/3/20 開通予定の橋で、この記事が出るころには開通しているでしょうが、走った当時はどれくらい完成しているのかといった興味から行ったものです。しかしゆめしま海道もかなりエモかったです。



生名橋をバックに。



Trek,Cannondale,Giant,Raleigh,Trek,Bianch



とてものが。

岩城橋。もう完成してるのかな？

再び渡船で因島に戻り、生口橋を渡ります。生口橋は車道の横に歩道があるタイプでした。
生口島で耕三寺を見物。平等院や陽明門や法隆寺夢殿やその他有名建築物を参考にして作られた建築物と、大理石でできたアートな空間が面白い。



平等院？



未来心の丘

生口島といえばレモンなのでジェラートを食べます。味はレモン、ミカン、伯方の塩あたりが有力選手。



伯方の塩と温州ミカン。レモンは？？？

お昼ご飯も生口島で。タコ飯を食べました。タコ天井デカ盛りを執拗に勧められましたがこれからもしばらく走るんですよ???タコ天井ノーマルを頼んだ人談では「これは胃もたれする」とのことだったので会報のネタが増えるなんて甘い言葉に乗せられなくて本当に良かった。

多々羅大橋を渡ってサイクリストの聖地へ。ここから大久野島までコンビニやスーパーはないのでおやつなど買い込んでおく。



面白自転車スタンド。

この場所から最短距離で大久野島行フェリーの盛港まで行く話もあったのですが、走り足りない4名が大山祇神社方面から回って向かうこととなりました。僕もその列に加わりましたが、大山祇神社～盛の坂の部分で暑さで死にかけました。初日寒かったから厚めの服装で来たのが仇になっています。着岸しようとするフェリーを尻目に港に飛び込むことに成功。失敗したら野宿ですからみんな必死



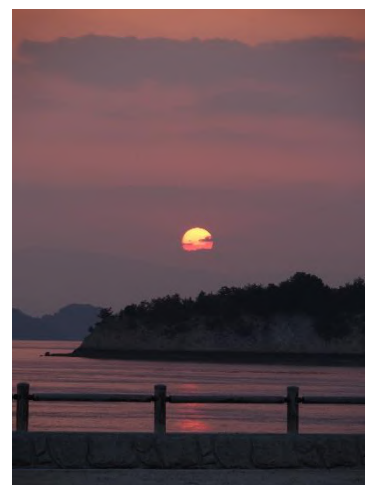
です。

盛～大久野島まで400円くらいだったかと思いますが、これまでの渡船で金銭感覚を破壊されてしまったのでとても高く感じます。この渡船の帰りが今回の合宿の最後の渡船です。



大久野島は言わずと知れたウサギと毒ガスの島です。ウサギは人懐っこく寄ってきますが、人間がエサを持っていないとわかるとそそくさと去っていきます。現金なやつらです。手を差し出すと何も乗っていないくてもウサギが寄ってきてくんくんしてくれるのでとても楽しいです。ここで数名ウサギのとりこになってしまいました。

大久野島の夕日→



4 日目

休暇村で一泊ののち、大久野島を一周しました。毒ガス工場や砲台など軍事施設が残っています。廃墟とウサギのギャップ。



4年生の2名とはここで別れです。おふたりはここから忠海にわたり、その先へ行くとのことでした。また、2年の新井も盛に渡ったのちまっすぐ今治を目指すとのことと分離して3名で走る

こととなります。



大久野島と青木さん

前日スルーした大山祇神社に参拝。国宝館や海事博物館など見入ってしまった。日本総鎮守というだけあってとても立派です。



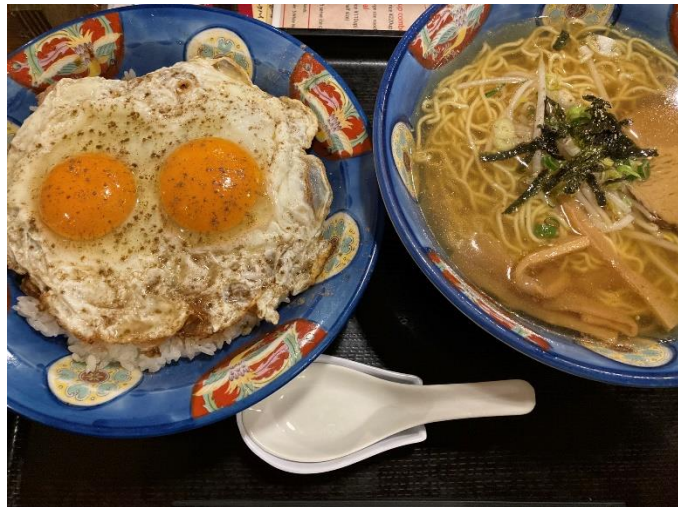
伯方島を一瞬で通過し、大島に入ります。道の駅ようみいきいき館で休憩、また僕の自転車のフロントバッグがタイヤにこすれていたため調整をしました。お金があればフロントフォークをクロモリに換装してキャリアでもつけたいものです。ここから最終の寄り道、亀老山展望台を目指すこととなります。本当は登りたくないんだけど坂に目覚めた戸井が登りたいっていうから仕方ないな……と言って他責にしつつでもやっぱりここまで来たからには来島海峡大橋とこれまで走ってきた道を上から見ずには帰れないので登ることにします。ここで本橋さんは松山空港の時間があるので分離しました。この先は今治駅、さらに別の記事できつと出す後ランまでずっと戸井と二人で走ります。



亀老山きつかった。しかし最後ということもあり道もそこそこ、さらに道中にあと0km おいしい藻塩アイスが待ってるよ！の看板があったので気合で登り切りました。隈研吾建築の展望台から見る来島海峡大橋。これが感無量というやつです。しかし、時間が遅かったのが藻塩アイスは閉まってました…

暮れゆく来島海峡大橋を渡りフィニッシュです。





今治市内「白楽天」の焼豚玉子飯で優勝

終わりに

NC に入って 2 年、通常の活動もままならないような期間もあり、合宿も当然実施されないままに執行代を降りるような時期になってしまいましたが、何とかこの時期に合宿を開催することができてとてもうれしく思います。合宿期間中とても天気にも恵まれ、気持ちのいいランを実施することができました。

準備は実は 7 割くらい戸井がやってくれてました。宿の手配など面倒くさい部分をやってくれていい合宿を開催できるまでこぎつけることができたので感謝です。ありがとう。参加して下さった方々もありがとうございました。実施できる人数が集まるか不安な面が実はあったのですが、全く心配無用でした。

これから入ってくる 1 年生、執行代になる 2 年生がまた例年のように合宿を通じて自転車に乗って楽しむことができるのを願います。

2月定サイ

担当 2年 戸井

1. 概要

2/25に2月定サイを開催しました。毎年このくらいの時期に餃子ランをやっているということだったので、餃子も食べたかったですし、餃子ランを開催しました。

ルート

JR宇都宮駅から大谷寺観音・若竹の杜を經由し、宇都宮に戻りました。距離は約35kmでした。

<https://ridewithgps.com/routes/38365131>

※最初の予定では、小山から宇都宮まで走ろうと思っていましたが、下見で、ひたすら北風に吹き付けられながら4号を北上する羽目になったので風がつかなくなさそうなルートに変更しました。

参加者（敬称略）

4年：青木、大澤、武縄、富田

3年：蓮沼、一野瀬、小野

2年：戸井、植木、深谷

1年：西口、芳賀、波多野、

2. 当日の流れ

13時 JR宇都宮駅集合。走る距離が少なかったことや、東京から自走しても、絶起しても間に合うよう、遅めの集合にしてみました。谷岡さんが輪行袋忘れて不参加になりましたが、他の方は集合時間の15分過ぎくらいには全員集まりました。大澤さんはロードバイクを宇都宮駅でレンタルしての参加でした。輪行の手間を考えると悪くないかもしれないですね。出走前に、サークル車のブレーキの位置がずれていたことが発覚したので、先輩の手を借りて修正。そういえば前回の定サイでトラブルって応急処置をして、そのまま貸し出しっぱなしだったので、整備ができていませんでした。ご迷惑おかけしました。

結局、集合時間から 3,40 分して出走。いつも通りですね。ここから班によって行き先が違ったので、自分のいた 1 班について書いていきます。

まずは、二荒山神社に向かいました。道は駅前なのでバスが多く、走りにくかったです。こういうところは潔く歩道に上がってしまった方が良さそうです。駅から近いので、すぐに神社に着きましたが、駐輪スペースが見つからず、脇道の門に停めて、各自お参りをしました。参道に鳩が群がっていたので、撮影大会が始まりかけました。この日の参加者は一眼レフなどのしっかりしたカメラを持つ人が多めでした。

次に向かったのは、うつのみや遺跡の広場資料館。縄文時代の竪穴式住居を復元したのが見られました。個人的にはまあまあ面白かったですが、ちょっと興味のある人ない人で満足度が変わるかなあという感じでした。



このあたりは田んぼが広がり、山や川も見えて景色が良く、北関東っぽさを十分に味わえました。景色を楽しみながら、次の大谷寺に向かいました。

大谷寺で集合写真を撮ろうかと考えていましたが、3 班が先に見学を済ませてしまったので、その次に向かう若竹の杜という竹林で撮ることに。ただ、これがちょっと失敗だったと後にわかります。



大谷寺では、仏像や庭園、巨石などを見ました。迫力がありましたし、展示もしっかりしていて面白かったです。

本当は、大谷資料館で採掘場跡の地下空間を観たかったのですが、1,2班は閉館時間に間に合わず断念…。3班は観られたようです。



大谷寺観音もついでに見て、頭のところまで登りました。
16時半を回ったころ、大谷寺を出発しました。日の入りの時間が迫ってきました。

17時ごろに若竹の杜に到着。と、ここで問題発生。入場無料だと思い込んでいましたが、実際には500円必要で、しかも17時からはライトアップをするため+1000円が強制的に課金される模様。合わせて1500円は厳しいので断念しました。集合写真は近くの竹林を背景にパッと撮って、宇都宮駅に戻ることになりました。結構雰囲気出てますね。



若竹の杜から宇都宮までは、夕方なので交通量も多く、また日没してしまったので、走りにくくなってしまいました。全員で東武宇都宮駅近くの駐輪場へ行き、餃子を食べる人は自転車を置いて「きらっせ」へ、帰る人はそこで解散としました。全員無事走りきれて、何よりです。

3. 反省点

- ・サークル車の点検を忘れないようにしたい。特に貸し出したままにする場合、整備担当が見られないので、ランの前には毎回チェックした方がよい。ま

た、サークル車が全体的に傷んでいるので、装備の更新も早めにした方が良さそうである。

- ・交通量の多く、特にバスが多いところは、歩道を使ってしまった方が良かった。

- ・全体の時間管理がよくなかった。集合写真を撮るのにだらだらと時間を使ったり、最後は急いだりと、慌しかったかもしれない。日の入りの時間を調べて、余裕を持って目的地に着くようにしたい。今回は3つの観光スポットによったが、2つでも十分だったと思う。

4. おわりに

今回のランは上の学年の方が多く来てくださり、いつもとは違った感じで楽しく過ごせました。ここのところランの参加人数が少なめだったので復活して一安心です。ランでは終盤グダッたり、バタしてしまったかもしれませんが、最後に美味しい餃子が食べられたので許してください()。

最後に、参加して下さった方々、ありがとうございました。

駒代連載 第5回（最終回）

駒代 新井一希

1. 前回のあらすじ

お久しぶりです。駒代の新井一希です。この連載では高校生の頃名古屋～広島まで自転車旅行したときのことを綴っていきます。今回はいよいよ最終回！大久野島&広島です。

2. 第7話：大久野島

盛港からフェリーに揺られること15分でうさぎの島「大久野島」が見えてきます。



栈橋に降り立ったすぐそばからうさぎ！うさぎ！うさぎ！



この当時、大久野島のうさぎの数は約 1000 匹！一周 5km の島にこれだけの数のうさぎがいるのはすごいですよね。現在は個体数が減って 500～600 匹程度になっているそうです。



島で唯一のホテル、休暇村大久野島

島についたのは 15 時くらいでしたが、そこから海水浴をしました。高校生元気すぎ。



泊まったのはテントサイト。テントは備え付きで手ぶらでOK！グランピングの原型みたいな宿泊でした。夜、ハンモックで寝たんですが星がいっぱい見えて最高でしたね。

うさぎの写真をいっぱい貼ってこの日は終わりとします。





3. 第8話：大久野島～広島

旅も最終日です。大久野島からフェリーで本州に戻り、広島を目指します。

Kazuki Arai - ライド

2017年8月21日、月曜日、9:43・竹原市, 広島県

朝のライド

説明を追加

非公開のメモを追加

一緒にいった友達が記録していませんか? [友達を追加](#)

86.18km 4:23:35 493m
距離 移動時間 標高

98W 1,549kJ
推定平均パワー エナジーアウトプット

	平均	最高
スピード	19.6km/時	45.4km/時
経過時間	8:38:19	

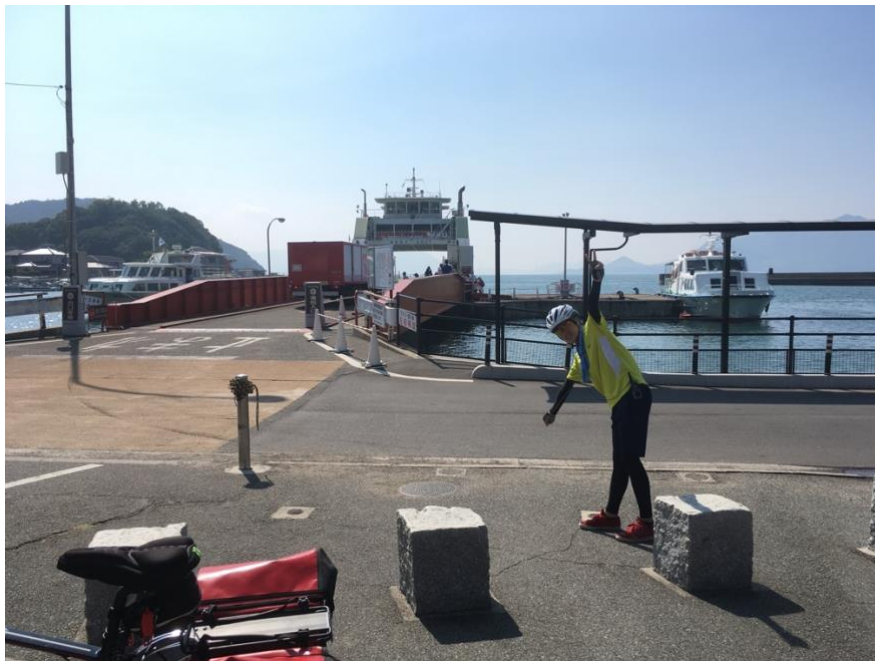
もっと表示

自転車: GIANT



<https://www.strava.com/activities/5855626425>

大久野島からフェリーに乗り、忠海（ただのうみ）へ。瀬戸内はフェリーが基本の移動手段です。



この日、マジで写真ないですが呉の大和ミュージアムに行きました。結構見ごたえあってよかった思い出。



寄り道もしたし、シンプルに遠かったのもので夜に広島到着。



お好み焼き 食いました

この日中には疲れて帰れそうになかったのもので、ホテルで一泊。翌日少し広島観光して帰りました。



ホテルでお菓子パーティー

4. おまけ

広島観光の写真。厳島神社はまた行きたいなあ（今は工事してるらしい）





5. おわりに

1年間駒代として連載を書かせてもらいました。ありがとうございました！今年も2回自転車旅行をしたので、高校編が終わったら書こうと思ってましたがとてもその余裕はなかったですね（笑）

来年以降、余裕があったらまた会報に入稿したいと思います！ではまた。

学業の時間を削って道南記事を更新したのでお知らせします。記事があまりにも長編になってしまったため今回からはリンクを貼るのみとします。気が付けば前回から 250 ページ増加して現在 405 ページ 120,000 語。430 時間書いているらしい。

- 9/3 小樽～神威岬 ←轍 2021
- 9/4 神威岬～岩内 ←2022-1
- 9/5 岩内～島牧 ←今回更新分
- 9/6 島牧～せたな ←今回更新分
- 9/7 せたな～江差
- 9/8 江差～函館
- 9/9 函館
- 9/10 函館

【追記分のコンテンツ】

- 9/5 岩内～島牧 120 ページ 35,000 語
 - ・旧国鉄岩内線：廃線
 - ・雷電トンネル：殆どがこれです、通常視認すらできない 1,201m の樺杣内覆道
 - ・刀掛トンネル：雷電温泉郷と絶景の旧道・あと泳ぎます
- 9/6 島牧～せたな 130 ページ 41,000 語
 - ・白糸一兜岩一狩場一茂津多トンネル：崩落したトンネル
 - ・茂津多岬灯台：日本一高い灯台
 - ・道道 740 号北檜山大成線：北海道外周最後の道路
 - ・太田山神社本殿：日本一危険な神社
 - ・太田トンネル：非常に珍しい成り立ちをしたトンネル
 - ・尾花岬：北海道本島最西端

閲覧はこちらから

[PDF \(135MB\)](#)

※135MB あるので安易にリンクを踏まないで下さい(重いです)。

駒代退任 & 会長就任あいさつ

新井一希

2021 年度駒代の新井一希です。駒代として過ごした 1 年、本当にあつという間でした。今年から、会長として 1 年よろしく願いいたします。

思い返せば雨とコロナに見舞われ、なかなかランのできない 1 年でした。また、僕自身前半はランの日程に都合が合わず、参加率の低い駒代となっしまい、不甲斐ない思いです。しかし、後半は後閑杯や定サイ、ショップめぐりに合宿と後半は様々なイベントに参加でき、同期ともやっと出会うことができ、幾分か改善されてよかったと感じています。

コロナの流行から、サークル運営の難しさを感じています。帰属意識、メンバー同士の認知の観点からやはり対面での活動は重要だと感じました。情勢が許さないときにはどうしようもないですが…

駒代としては本当に頼りなかったと感じていて、同期・先輩・後輩のみなさんには申し訳ない限りです。しかし幸いにもなんとか今年も 1 年生が集まってくれたので、引き継ぎをしっかりと、駒代としての最後の仕事を終えたいと思います。

この度、合宿担当を退任しました、2年の戸井です。

合宿担当は、コロナの状況を見て合宿ができるかどうかを判断し、できるときには計画をたてて、合宿を開催します。具体的には、行き先を決め、宿を予約し、参加者を募集することです。自分は、植木に半分ほど仕事を手伝ってもらったので、実質2人で兼任のような感じだったかもしれません。

自分達の代では、1年生のときからずっと合宿が出来ず、つい先日、3月上旬にやっとしまなみ海道で合宿が開催できました。正直、合宿担当としての仕事はせずに代替わりするのではないかと思っていましたが、なんとか3月に捻じ込みました。この合宿では1度も雨に降られない幸運に恵まれ、また、トラブルなく、中身の濃い活動ができました。参加してくださった皆さんのおかげです。ありがとうございました。旅の楽しさに気づいてしまったので、これからもいろいろな場所へ旅したいと思います。

日帰りのランでは得られない体験ができると思うので、合宿は、来年もできる範囲でもらいたいと思います。次の代の皆さんは、まだ活動に参加して短く、合宿も未体験だと思いますが、未体験の僕でも出来たので、気負わずやってください。

編集後記

二年 植木

こんにちは、編集担当の植木です。読んでくださった方、記事を寄せてくださった方にお礼申し上げます。これが退任挨拶も兼ねた最後の編集後記となります。

今年度を振り返ってみれば、去年と比べれば格段に定サイが行いやすい状況になっていたにもかかわらず悪天候であまり定サイが開催できなかったこともあり、会報をあまり発行することができませんでした。定サイに予備日を設けるなど悪天候に対する準備をしておくべきだったなあと反省しています。少ない発行回数の会報でしたが、充実の記事内容にすることができたのは寄稿してくださった方々のおかげです。ありがとうございました。

さて、例年の会報であれば退任挨拶と同時に新執行代の就任挨拶が載るはずなのですが、今年はそれを載せることができません。なぜなら、まだ引継ぎが終わっていないからです！引継ぎまで後手に回ってしまって割とまずい状況ですが、いろいろあって1年生の顔合わせや定サイの参加があまりできていない状況もあって現2年生が大きくサポートをしていかなければならないと思っています。これから引継ぎ、可能ならばサークル車の更新などやることはまだまだありますが、まずは次なる編集担当にご期待ください。